

避難生活の環境変化に対応した支援の実施に関する検討会 第4回資料

平成28年熊本地震における 車中泊の状況について

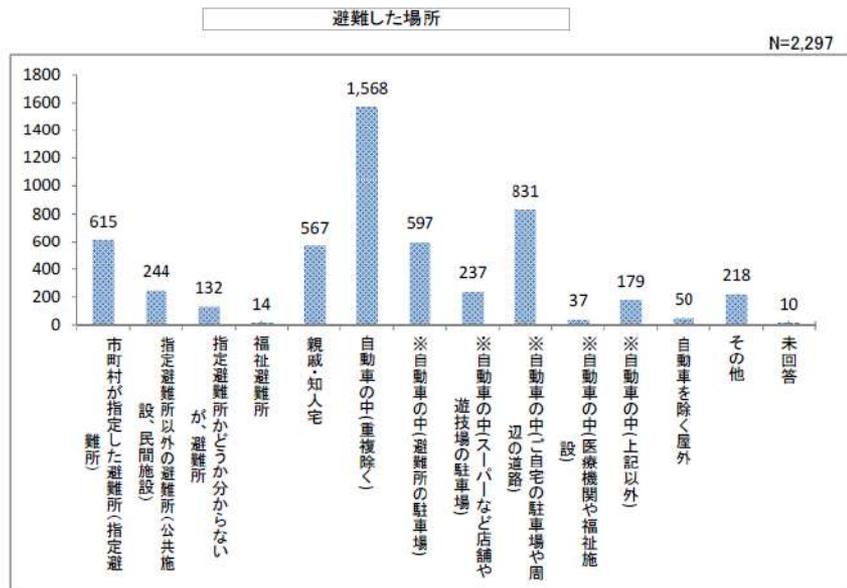
令和5年10月25日（水）

熊本県健康福祉部健康福祉政策課地域支え合い支援室 吉原

1 熊本地震での車中泊の状況

問20② 避難した場所(最も長い期間避難した場所含む)はどこですか。(複数回答)

避難した方(2,297人)にお聞きしています。



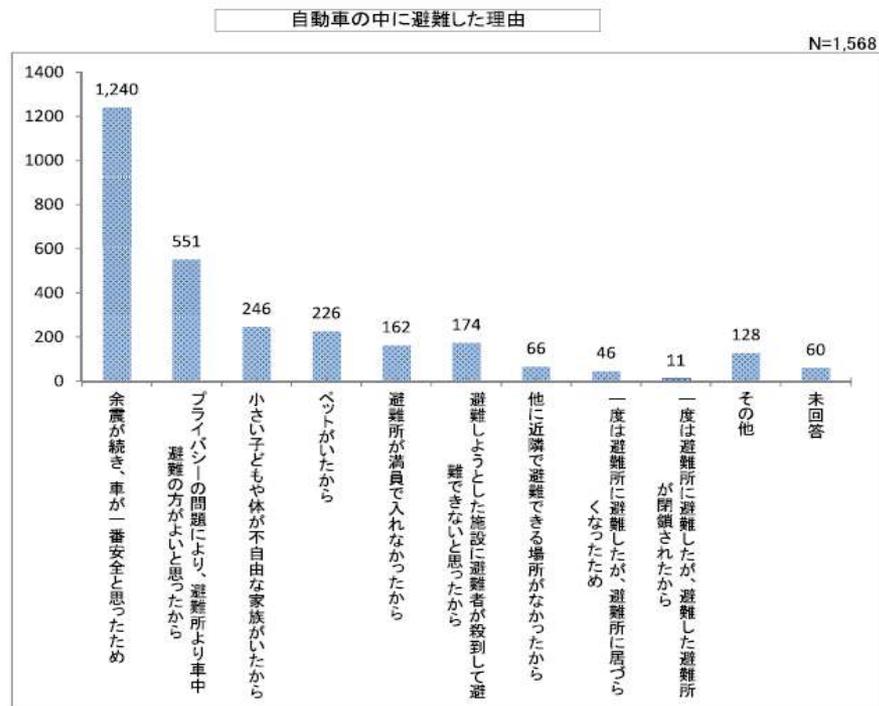
(注)「自動車の中(重複除く)」は「※」が付いた選択肢を回答した方の人数
(「※」が付いた選択肢を2つ以上選択した場合も1人とみなす)

N=2,297

市町村が指定した避難所(指定避難所)	615	26.8%
指定避難所以外の避難所(公共施設、民間施設)	244	10.6%
指定避難所かどうか分からないが、避難所	132	5.7%
福祉避難所	14	0.6%
親戚・知人宅	567	24.7%
自動車の中(重複除く)	1,568	68.3%
※自動車の中(避難所の駐車場)	597	26.0%
※自動車の中(スーパーなど店舗や遊技場の駐車場)	237	10.3%
※自動車の中(ご自宅の駐車場や周辺の道路)	831	36.2%
※自動車の中(医療機関や福祉施設)	37	1.6%
※自動車の中(上記以外)	179	7.8%
自動車を除く屋外	50	2.2%
その他	218	9.5%
未回答	10	0.4%
回答計	3,731	

問22 自動車の中に避難した理由は、何ですか。(複数回答)

自動車の中に避難した方(1,568人)にお聞きしています。



N=1,568

余震が続き、車が一番安全と思ったため	1,240	79.1%
プライバシーの問題により、避難所より車中避難の方がよいと思ったから	551	35.1%
小さい子どもや体が不自由な家族がいたから	246	15.7%
ペットがいたから	226	14.4%
避難所が満員で入れなかったから	162	10.3%
避難しようとした施設に避難者が殺到して避難できないと思ったから	174	11.1%
他に近隣で避難できる場所がなかったから	66	4.2%
一度は避難所に避難したが、避難所に居づらくなったため	46	2.9%
一度は避難所に避難したが、避難した避難所が閉鎖されたから	11	0.7%
その他	128	8.2%
未回答	60	3.8%
回答計	2,910	

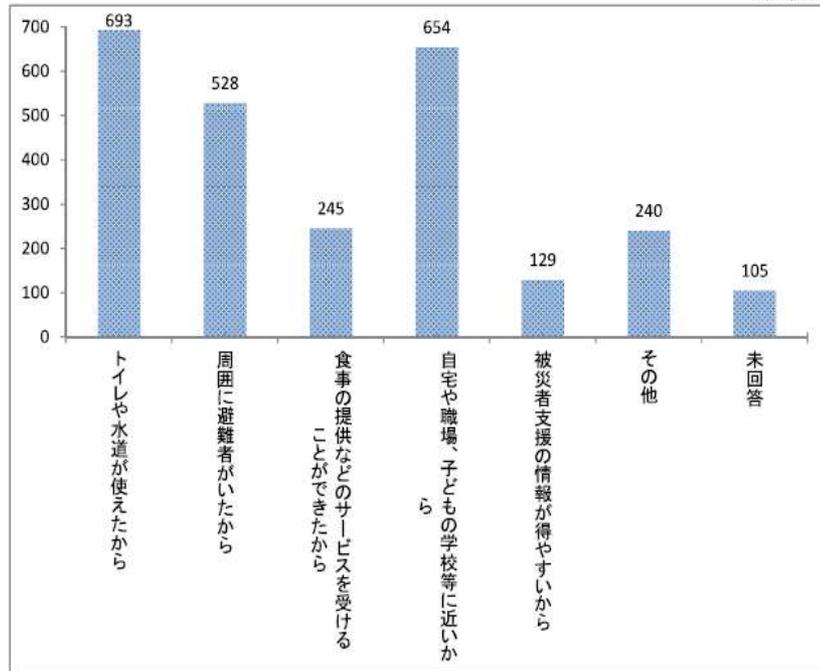
1 熊本地震での車中泊の状況

問23 なぜ、その駐車場に避難されましたか。(複数回答)

自動車の中に避難した方(1,568人)にお聞きしています。

避難した場所を選択した理由<車中泊>

N=1,568



N=1,568

トイレや水道が使えたから	693	44.2%
周囲に避難者がいたから	528	33.7%
食事の提供などのサービスを受けることができたから	245	15.6%
自宅や職場、子どもの学校等に近いか	654	41.7%
被災者支援の情報が得やすいから	129	8.2%
その他	240	15.3%
未回答	105	6.7%
回答計	2,594	

多数の車中泊者



(主な課題)

- 車中泊等の実態把握が困難であり、物資の支援や情報提供が不十分であった。
- 発災直後には、エコノミークラス症候群の患者が集中的に発生し、中には重篤な患者も発生した。
- 施設が被災した場合、トイレの用意ができず、近くの施設を案内しても、敷地内で用を足す方がいるなど、対応に苦慮した。

2 熊本地震での車中泊者への支援状況

- 物資配布テントを設置し、車中泊避難者等の避難所外避難者へ物資の配布等を行った。



- グランメッセ熊本（産業展示場）では、駐車場が満杯（2,200台）となり、国等が手配した仮設トイレの設置、自衛隊や他県の給水車等の設置の対応を行った。



2 熊本地震での車中泊者への支援状況

- ・保健師等の巡回によりエコノミークラス症候群予防啓発チラシを配布した。
- ・弾性ストッキングを配布した。
- ・報道機関と連携して、啓発を実施した。

熊本県健康危機管理課、健康づくり推進課からのお知らせ

**注意!**

避難されている皆様へ

地震により長時間避難所で生活されていると、エコノミークラス症候群、感染症（インフルエンザ、ノロウイルスなど）、食中毒が発生する可能性が高くなります。避難所での集団生活では、以下の点に注意しましょう。

1 エコノミークラス症候群対策

長時間足を動かさずに同じ姿勢でいると、エコノミークラス症候群を起こす可能性があります。初期症状として、太ももから下の足が赤くなったり、腫れたり、痛み等が出現することもあります。足にできた血栓が肺に詰まり、突然の胸痛、呼吸困難、失神等の症状が出現し、大変危険な状態となることもあります。

【予防方法】

- (1) 長時間同じ（特に車中等での窮屈な）姿勢でいないようにする。
- (2) 足の指をこまめに動かす、または歩く。
- (3) 適度な水分を取る。
- (4) 時々深呼吸をする。

2 感染症対策

- (1) せきをしている時は、マスクをつけましょう。
- (2) 食事の前やトイレの後には、水が出ない場合はアルコール等で手をきれいにしてください。
- (3) はだして砂や土の上を歩かないようにしましょう。

3 食中毒対策

- (1) 調理時は清潔に努め、手洗いもしっかり行いましょう。
- (2) 流水がない場合は、ウェットティッシュなどで代用しましょう。
- (3) 生ものは避けて、加熱したものを食べるようにしましょう。
- (3) 調理したものは、早めに食べましょう。
- (4) 食品は、温度が上がらない冷暗所に保管しましょう。
- (5) 食べ物が腐敗している場所にペットなどの動物を近づけないようにしましょう。
- (6) 提供された食品は、消費（賞味）期限内に食べましょう。

4 その他

- (1) 具合が悪くなった場合は、早めに医師等に相談しましょう。
- (2) 食物アレルギーのある方は、食事にアレルギーが含まれていないか確認しましょう。

連絡先：熊本県健康危機管理課 096-333-2247 熊本県健康づくり推進課 096-333-2208



3 車中泊の課題の対する方向性等

- 車中泊等の避難所外避難者を集約する場所の指定（指定避難所の敷地内、大型商業施設等との利用協定等）
- NPO、ボランティア、地域の自主防災組織等と連携した被災者の把握体制、物資の提供体制の整備
- インターネット、ラジオなど様々な方法による情報提供
- エコノミークラス症候群の平時及び発災直後の啓発